

令和3年度教育活動 保護者による評価の分析・考察

1 令和3年度学校教育目標

自ら学び、こころ豊かで、共にたくましく生きる児童の育成

2 令和3年度学校経営の基本方針

(1)主体的・対話的で深い学びを実現し、創造性を伸ばす教育に取り組む。

3 学校評価の内容

評価 (◎:適切 ○:ほぼ適切 △:あまり適切でない ×:適切でない)

大項目	中項目	番号	評価項目	関連する取組	保護者による評価の分析結果・改善方策	学校評議員 評価	
学校経営	開かれた学校づくり	①	学校は、教育方針や教育活動を分かりやすく伝えている。	学校だより 学年通信 ホームページ 「よくわかる誉田小」	「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答された方を合わせた結果は91%と、昨年度の86%と比較すると約5%上昇しています。学校の様子を伝える学校便りや学年通信、ホームページなど、発行回数や更新回数をできる限り増やし、学校の様子をお伝えできるよう努めてきたことが、一定の評価を得たものと考えています。ただ、コロナ禍で学校に来ていただく機会が減っているなか、どうすればさらに学校での児童の様子をお伝えできるか、別の方法も含め職員で検討してまいります。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で大変なエネルギーを使っておられる点、感謝します。 ・学校だよりを通して、小学校で取り組まれていることを知るきっかけになっています。 ・できる限りの行事を感染症対策をしながら行われていて、こども園でも参考にさせてもらっています。 ・コロナ禍の中、よくがんばっておられると思います。 ・感染対策で学校運営にご苦労されたと思います。評価の機会があまりなかったのが残念に思います。 ・様々な制限のある中で素晴らしい学校運営、教育を行っておられると思います。
		②	学校は、保護者や地域の人が子どもたちの様子を知る機会を設けている。	授業参観 運動会 音楽会 オープンスクール 家庭訪問 個別懇談 マラソン大会	「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答された方を合わせた結果は90%と、昨年度の94%と比較すると約4%減少しています。ただ「そう思う」の割合は約5%上昇しています。今年は参観日の回数は減ってしまいましたが、大きな行事である運動会や音楽学習発表会・マラソン大会などは実施時期を変更したり、密を避けるため開催方法を工夫したりしながら、なんとか実施することができました。来年度も感染症対策を行いながらの学校運営となることが予想されます。ICT等も利用しながら、できる限り保護者の皆様に学校の様子をお知らせできるよう努めてまいります。		
	信頼される学校づくり	③	学校は、保護者からの問い合わせや訪問に対して、ていねいに対応している。	職員の電話応対や接遇	「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答された方を合わせると88%と、昨年度の89%とほぼ変わりませんが、「そう思わない」の割合は約2%上昇しています。また、記述式のアンケートの中にも厳しいご指摘もいただいております。学校が児童や保護者の方々にとって安心・安全で信頼できる場であるよう、反省すべきは反省しこれまで以上に心の通い合う対応や接遇に努めてまいります。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせて88%というのは素晴らしいと思います。 ・もっと子どもたちのことを見ていただきたい。子どもが頭をぶつけても、先生からの連絡がありません。学校からの対応が変わっていません。
		④	学校は、保護者や地域の声を教育活動に生かそうと努めている。	PTA委員会 教育活動アンケート 学校評議員会	「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答された方を合わせると、88%と昨年の85%より3%上昇していますが、「そう思う」の割合は約5%減少しています。本年度はPTAの各会合や民推協・青少協の活動も新型コロナウイルスの影響を大きく受けて開催数が減少しております。学校評議員会も急な警報等で書面にての説明になるなど、例年のように会合の機会を利用して皆さんからのご意見をお聞きする機会も少なくなっております。今後の新型コロナウイルスの感染状況等見通しが難しいところではありますが、できる限り、各関連団体と連携を図りながら、家庭や地域の声を生かすことができるよう取り組んでまいります。		
	学習環境づくり	⑤	学校は、校舎内外をきれいにし、落ち着いた学習環境の整備に努めている。	校内の掲示 校舎内外の様子 日々の清掃活動	「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答された方々を合わせると、昨年とほぼ同じ94%となっています。本校では、「もくもくそうじ」をスローガンに、時間いっぱい黙って隅々まで掃除ができるよう指導を続けています。校庭の樹木も多く芝生による緑化されている箇所もたくさんありますが、剪定や草引きなど児童とともに日々校内美化に取り組んでおります。PTAからいただく予算も大変ありがたく、季節の花の購入に充てさせていただき、児童とともに世話をしながら学習環境整備に取り組んでいます。	◎	掃除の指導等、児童とともに取り組まれ、きれいにされていると思います。
教育活動	学力の向上	⑥	学校は、子どもたちに基礎的な学力が身につくように努めている。	朝の学習タイム 朝読書 複数の教師によるきめ細かな授業の推進 算数教室 家庭学習の手引き	「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答された方は、昨年度の89%より5%上昇し、94%となっています。確かな学力の確立のため、今年度は、「朝の学習タイム」と「わかる授業づくり」に重点をおいて、取組をすすめてきました。「朝の学習タイム」では、継続的な漢字学習や新聞の活用によって、基礎学力や読解力の向上をめざしました。「わかる授業づくり」では、タブレットの効果的な活用について研修を行い、実践にいかしました。また、複数の教員による授業の推進や、算数教室・サポートルームにおける補充学習など、個に応じたきめ細かな指導にも取り組んでいます。今後も、確かな学力の確立をめざして、児童の実態把握に努め、一人一人に合った取組を進めていきます。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の89%より5%も上昇しているのは、素晴らしいと思います。 ・交流を通して、授業の仕方の工夫も知ることができ、参加した職員も学ばせていただきました。 ・子どもの向学心を育む取り組みを期待しています。 ・誉田小学校を含めた、たつの市小学校全体(日本全体)ですがリモート授業等のICTが遅れていると感じます。様々な課題があると思いますが、将来ある子どもたちのためにも促進することを期待しております。
		⑦	学校は、子どもたちに学習の習慣を身につけさせるとともに、学習意欲を高めようとしている。		「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答された方は、昨年度とほぼ変わらず、90%となっています。今年度も、学習習慣の確立のため、「朝読書」や「朝の学習タイム」の充実を努めたり、「家庭学習の手引き(誉田小版)」を発行して家庭学習が充実したものとなるよう家庭への啓発を行ったりしてきました。また、児童が意欲的に学習に取り組めるよう、対話を中心とした授業改善や教材研究に努めてきました。今後も学校での取組を継続するとともに、学校だよりや学年通信、懇談等で啓発を行い、学習習慣の確立に努めていきます。		

大項目	中項目	評価項目	具体的な取組	分析結果・改善方策	学校関係者評価		
教育活動	道徳教育や人権教育の充実	⑧	学校は、生命を大切にすることを育てることに努めている。	道徳参観 人権学習 広島平和学習 福祉教育 ・手話体験 ・点字体験 ・重いす体験 ・認知症サポーターなど ふれあい学級 スマホ・ケータイ教室 人間関係づくりプログラム アンケート等によるいじめの早期発見・早期対応	「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答された方は昨年度の89%から6%増の95%でした。学校では、集団生活や学習活動の中で規範意識を培い、道徳教育や人権教育を中心にして生命を大切にすることを育てることに努めています。今年度も、子どもたちから募集した人権標語を掲示板や廊下に掲示し、日常生活の中でも人権を意識するよう取り組んでいます。しかし、人を傷つける言葉を言ったり、相手の気持ちを考えずに行動したりすることでトラブルになることもあります。命は何より尊いものであることを日々の教育活動の中で意識させています。今後も家庭や地域と連携し、自他を認め合える心を育てていきたいと考えています。また、「特別の教科 道徳」の充実、系統的な人権学習など全職員が共通理解し、さらに研修を深めるとともに、福祉体験、ふれあい学級、人権標語の募集など、児童が人権意識を育めるような取組を続けていきます。	○	・⑧⑨どちらの項目も良い評価が増えていて、道徳教育や人権教育に熱心に取り組まれている成果が表れていると思います。 ・先生が子どもにいじめはだめと言っているのに、先生が子どもの話を聞かずにいじめの対象にしている。 ・来年度の民推協菅田支部実践発表会に向けて取り組みたいと思います。
		⑨	学校は、子ども一人一人を大切に、いじめのない仲間づくりに努めている。	「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答された方は昨年度の82%から3%増の85%でした。学校では、道徳教育や人権教育をはじめとして日々の学習や生活を通じて仲間づくり活動を行い、すべての児童が安心して学校生活を送れるように努めています。日々の児童の様子を見ることはもちろんのこと、子どもの実態把握をするために、月に1回「心の健康カード」を書く機会を設けています。日頃の悩みを気軽に書けるように配慮しながら、気になる内容の児童に声をかけたり聞き取りをしたりし、それをもとに、生活指導や個別の指導を行っています。また、児童にとって心休まる場所となるようにサポートルームを設置し、生活や学習の相談ができるようにするとともにスクールカウンセラーや教育相談員による面談も行っていきます。実態把握に基づく指導を行っていることを保護者に知っていただき、今後も学校と家庭が一体となり、「いじめは許さない」姿勢で指導を行います。	・保護者の中でもあいさつをしない人を見かける。教育現場だけの取り組みだけでは改善されず、家庭の姿勢が大きく影響していると感じます。 ・家庭・地域での生活、子ども自身の「自尊感情」のレベルも関わってくるものと考えています。やはり、地域もしっかりしなければ、と考えています。		
	生活指導	⑩	子どもたちは、家族や友だち、地域の人々に進んであいさつをしている。	「ほんだっ子10の約束」の指導 あいさつ運動 連絡メールシステムの活用 連絡帳の活用 教育相談 サポートルーム 家庭訪問 生活アンケート	「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答された方は昨年度の89%から77%と大きく減っています。一斉下校や児童朝会などで機会を捉えて、あいさつについて指導を行っています。また、環境委員会が主になって校門に立ってあいさつをしたり、あいさつ週間を設けたりすることで全校で意識をするようにしています。しかし、今年度の評価は低下しているという事で、今一度教師も児童も気持ちのよいあいさつについて見直す良い機会となると考えます。道徳科の学習や、学級活動の時間などで折に触れあいさつの大切さについて取り上げていくとともに、地域の方からいただくお褒めの言葉やご意見を子どもたちに適宜紹介し、あいさつをして気持ちよかったという実感が得られるようにしていきます。また、あいさつはコミュニケーションツールとしてとても大切なものであることを指導した上でコミュニケーション能力(相手の目を見る、伝わりやすいように話す)を身につけさせていきます。	○	・対応できていない。学童の先生に言っ、保護者に伝わっていない。
		⑪	子どもは、楽しく登校している。	「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答された方を合わせると88%で、昨年度より減っています。「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した方もおられることを重く受け止め、今後も児童が楽しく登校できる環境づくりに取り組みます。具体的には、仲間づくりやわかる授業づくりを基本とし、全教職員で児童への声かけ(頑張りや認めたり褒めたりする)や友だち関係の観察、児童理解研修の充実を図るなどして、児童の内面的な理解や課題の解決に努めていきます。			
		⑫	学校は、子どもや保護者との連絡や相談に適切に対応している。	「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答された方は、昨年度とほぼ同じ91%でしたが、「そう思う」の回答が昨年度よりも6%増えていました。保護者からの相談を受けた場合は、担当及び関係の職員で共有し、必要に応じて全教職員で問題点を共通理解し、早期解決できるよう努力しています。個別懇談は、1学期末に全児童と、2学期末に希望者を対象として行い、学校や家庭での様子を伝え合う場となるようにしました。また、児童の様子で気になることがあった場合は、その日のうちに連絡帳や電話、家庭訪問等で連絡を行いました。子どもや保護者の思いや相談内容もそれぞれに違うので、今後も全教職員で児童との関わり方について共通理解した上で、児童一人一人の気持ちを大切にしたいと努めます。また、スクールカウンセラーによる教育相談や関係機関の紹介などを行っていることを周知し、充実を図っていきます。			
	健康教育・安全指導	⑬	学校は、子どもが安全で健康やかな生活を送れるよう努めている。	避難・防災訓練 見守りボランティア事業 保健室だより 委員会活動 日々の健康観察の実施	「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答された方は昨年度の95%から3%減の92%でしたが、「そう思う」の回答は昨年度よりも4%上昇しています。火災・地震を想定した避難訓練では、自他の命を守るために児童自身が自分で考え判断し行動できることをねらいとして取り組みました。また、震災副読本「明日に生きる」を活用し、様々な防災に関する指導を行いました。見守りボランティアにおいては、PTAや地域の方々のご協力により、登下校を中心に児童の安全を見守っていただいています。保健指導では、コロナ禍に対応すべく、衛生面の管理に力を入れ、手洗いの推奨やマスク着用の徹底、児童下校後の消毒等に努めています。また、毎日検温、健康チェックの提出をしていただく等、家庭でも協力していただいています。児童の健康面に関する取組にも力を入れています。休み時間の外遊びの奨励、手洗い、うがいの習慣づけなど、委員会活動でも呼びかけています。	◎	・コロナ禍において、衛生面の指導も徹底して取り組まれていると思います。 ・コロナについて、感染した人を守ることも大切ですが、次に広がらないようにも情報も伝えていただきたい。家族は誰一人感染していないので学校での感染が一番考えられ、予防接種をしていない子どもたちを守ってあげていない。 ・コロナ感染防止に様々な気を使い行事を実施されたと思います。

特定課題	郷土愛・地域との連携	⑭	学校は、地域に対する誇りや愛着を育てよう努めている。	校区探検・町探検 スポーツクラブ21 菅田 隣保館等との連携 海に学ぶ体験事業 太鼓づくり ヒストリー探検ウォーク	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答された方を合わせると90%で、昨年同様の評価を得ていますが、「そう思う」の回答は、昨年より4%上昇しています。地域の方々の協力を得て実施している校区探検、皮革工場見学、革細工などの体験活動では、地域の様子や産業のことをさらに知るとともに、地域の方々が素晴らしい技術をもち、熱い思いで仕事をされていると感じることができました。また、自治会やPTAの全面的なご支援のもと毎年実施している広島平和学習は戦争の悲惨さ、平和の大切さを肌で感じることができる菅田ならではの活動を行っています。そして、スポーツクラブ21の皆さんにお世話になっている菅田町ウォークラリーは、本年度はコロナウィルスの感染予防のため中止になっていましたが、6年生児童が中心となり、ヒストリー探検ウォークという行事を開催し、菅田町の古跡や名所に触れ、郷土愛を育みました。隣保館まつりでは、ふれあい学級で子どもたちが革細工体験やさつまいも苗植え、収穫から学んだことを展示し、地域に発信する場になっています。革細工や菅田町のことを誇りに思う児童を育てるために、今後も地域と連携しながら教育活動をしていきます。		<ul style="list-style-type: none"> ・地区探検や皮革工場見学など、地域に愛着をもつことができる取り組みはとても良いことだと思います。 ・コロナ禍で、地域との交の機会が少なかつたと思います。工夫しながら連携・交流され、素晴らしいと思います。 ・今後もこども園との交流の機会を多くつくっていただけるとありがたいと思います。
		⑮	学校は、地域の関係団体・施設や地域の方々との連携・交流を積極的に進めている。		「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答された方を合わせると89%の評価を得ました。地域とのスムーズな連携に向け日頃より交流を行っています。子ども会や青少協、民推協とは連携を密に図りながら各種事業に取り組んできてきましたが、コロナ禍においては、開催方法を工夫してできることに取り組んでいます。そして婦人会の方にはふれあい縁日等、交流をはかる様々な行事を行っていただき、子どもたちもたくさん参加させていただきました。また民生児童委員さんとは情報交換会を年3回定期的に行い、情報を共有しながら子育て支援に努めています。例年であれば、菅隣保館は、「ふれあい学級」の実施を通して子どもたちの体験活動や地域の方とのふれあいをより豊かなものにしていただいていたのですが、コロナ禍である本年度はさつまいもうえ・さつまいもほりのみの活動となりました。この他にも、3年生の総合学習や人権学習の取組の中で、隣保館に行って地域の方との交流を行っています。これからも地域の関係団体・施設や地域の方々との連携・交流を積極的に進めながら、児童の体験活動や学びの充実、健全育成に努めていきます。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・「海に学ぶ学習」は生き物を観察し、「食べること、調理法」などの多くを学び、自然体験ができた貴重な体験学習です。続けてほしいです。
<p>【全体を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の取り組み全般についてコロナ禍でもできる範囲の工夫と考慮を実施していただいております。 ・保護者と教師側の意識に差があると感じた項目があります。(④・⑨・⑩・⑪) 我が子を見るのと、児童全体を見るのでは、評価の基準が異なるのでしょうか。 ・先生方にはやはり「A」の評定を目指してもらいたい。AとBが半々になるような項目では職員間でいろんな意見が交わされているのでしょうか。よりよい実践につながるよう期待します。 							

4 学校評価の公表方法

<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより(HPへの学校だよりのUPも含める)で学校評価結果を一部公表する。 	<p>【公表内容】</p> <p>保護者アンケート集計結果、保護者アンケート結果分析と改善方策について、学校関係者評価(学校評議員評価)</p>
---	--